

(2014年度)

### 3 日本史問題 (60分)

(この問題冊子は12ページ，4問である。)

#### 受験についての注意

1. 監督の指示があるまで，問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に，監督から指示があったら，解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し，所定の欄に氏名を記入すること。次に，解答用紙の右側のミシン目にそって，きれいに折り曲げてから，受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し，机上に置くこと。
3. 監督から試験開始の指示があったら，この問題冊子が，上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は，HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能，計算機能，辞書機能などを使用してはならない。
5. 解答は解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで，そのマーク欄をぬりつぶすこと。その他の部分には何も書いてはならない。
6. マークをするとき，マーク欄からはみ出したり，白い部分を残したり，文字や番号，○や×をつけてはならない。
7. 訂正する場合は，消しゴムでいねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり，破ったりしてはならない。
9. 試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1 平安時代についての以下の文章を読んで後の問いに答えなさい。ただし、文章は一部に語句を伏せた箇所があるので、歴史的に正しく補って読むこと。

平安時代に至り、藤原氏一族のうちの( 1 )一門が台頭しはじめるころ、( 2 )天皇と対立していた平城太上天皇との間で政治的な混乱が生じた。これが( 3 )年のいわゆる( 4 )で、この結果太上天皇は出家し、側近で藤原( 5 )の仲成は射殺された。この時期の( 1 )の代表者は蔵人頭であった( 6 )である。

( 6 )を継いだ良房は、すでに( 7 )年に太政大臣になっていたが、( 8 )年に事実上の摂政に就き、( 9 )年には正式に摂政就任したほか、この時期に前後して起こった( 10 )や( 11 )の機会を利用して藤原氏の地位を固めるのに成功した。( 12 )年に起こった( 10 )では( 13 )や橘逸勢が排斥され、( 14 )年の( 11 )では、( 15 )とその息子らが配流された。

次の基経は、摂政を経て( 16 )年に事実上の関白になると、3年後正式に関白に就任し、文字通りの摂関政治に乗り出した。基経の存在が特に注目される歴史的な事件は、( 17 )年にいたる( 18 )で、( 19 )天皇の時の詔に異議を唱え政務が混乱し、責任を取る形で橘広相が処罰されて収束した。

基経の子息である( 20 )の時代、891年に( 21 )に就任したころから、藤原氏に権力が集中した政治体制や手法への反発も見え始め、天皇親政による試みもなされたが、( 22 )年に( 23 )が起こり、当時( 24 )だった菅原道真は( 20 )の讒言により九州に左遷された。この当時の天皇は( 25 )天皇である。

この時期は、後世から延喜・天曆の治と呼ばれ、天皇親政の模範ともされた時代であったが、実際には地方で承平・天慶の乱などの起こった社会的に安定さを欠いた時代でもあった。他方、藤原氏への権力集中は、歴史上のある事件で確立したということができよう。この事件は、一部の密告者により左大臣が九州に左遷されて決着し、以後、道長・頼通に代表される藤原摂関家の全盛期を迎えることになる。

問 文章中の空欄( 1 )～( 25 )に当てはまるもっとも適切なものをそれぞれ1つずつ選びなさい。

( 1 ) ① 東家 ② 西家 ③ 南家 ④ 北家 ⑤ 式家  
⑥ 京家

( 2 ) ① 清和 ② 嵯峨 ③ 仁明 ④ 桓武 ⑤ 文徳  
⑥ 後奈良

( 3 ) ① 794 ② 797 ③ 802 ④ 806 ⑤ 807  
⑥ 810

( 4 ) ① 安和の変 ② 乙巳の変 ③ 嘉吉の変 ④ 葉子の変  
⑤ 承和の変 ⑥ 正中の変

( 5 ) ① 東家 ② 西家 ③ 南家 ④ 北家 ⑤ 式家  
⑥ 京家

( 6 ) ① 忠平 ② 実資 ③ 兼通 ④ 道兼 ⑤ 基房  
⑥ 冬嗣

( 7 ) ① 857 ② 858 ③ 859 ④ 860 ⑤ 861  
⑥ 863

( 8 ) ① 857 ② 858 ③ 859 ④ 860 ⑤ 861  
⑥ 863

( 9 ) ① 866 ② 867 ③ 868 ④ 869 ⑤ 870  
⑥ 871

( 10 ) ① 応天門の変 ② 葉子の変 ③ 承和の変  
④ 安和の変 ⑤ 昌泰の変 ⑥ 乙巳の変

( 11 ) ① 応天門の変 ② 葉子の変 ③ 承和の変  
④ 安和の変 ⑤ 昌泰の変 ⑥ 乙巳の変

( 12 ) ① 835 ② 839 ③ 842 ④ 846 ⑤ 851  
⑥ 859

( 13 ) ① 伴善男 ② 藤原実頼 ③ 源高明 ④ 源満仲  
⑤ 在原業平 ⑥ 伴健岑

- ( 14 ) ① 862 ② 864 ③ 866 ④ 869 ⑤ 871  
⑥ 873
- ( 15 ) ① 伴善男 ② 藤原実頼 ③ 源高明 ④ 源満仲  
⑤ 在原業平 ⑥ 伴健岑
- ( 16 ) ① 879 ② 881 ③ 884 ④ 886 ⑤ 887  
⑥ 888
- ( 17 ) ① 879 ② 881 ③ 884 ④ 886 ⑤ 887  
⑥ 888
- ( 18 ) ① 安俱の紛議 ② 易詠の紛議 ③ 関伽の紛議  
④ 阿衡の紛議 ⑤ 暗頌の紛議 ⑥ 亜唆の紛議
- ( 19 ) ① 光孝 ② 清和 ③ 陽成 ④ 冷泉 ⑤ 朱雀  
⑥ 宇多
- ( 20 ) ① 忠平 ② 頼忠 ③ 宗忠 ④ 時平 ⑤ 忠実  
⑥ 師実
- ( 21 ) ① 菅原道真が内覧 ② 菅原道真が左大臣  
③ 菅原道真が右大臣 ④ 菅原道真が遣唐大使  
⑤ 菅原道真が権帥 ⑥ 菅原道真が蔵人頭
- ( 22 ) ① 900 ② 901 ③ 902 ④ 904 ⑤ 905  
⑥ 906
- ( 23 ) ① 応天門の変 ② 薬子の変 ③ 承和の変  
④ 安和の変 ⑤ 昌泰の変 ⑥ 乙巳の変
- ( 24 ) ① 太政大臣 ② 内大臣 ③ 左大臣 ④ 右大臣  
⑤ 大納言 ⑥ 参議
- ( 25 ) ① 文徳 ② 村上 ③ 陽成 ④ 清和 ⑤ 冷泉  
⑥ 醍醐

2 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

13世紀初め、モンゴルにおいて(ア)が諸部族を統一し、その後継者は、広大な王国をつくった。13世紀半ばには、孫の(イ)が朝鮮半島や大越[(ウ)]などに侵攻し、都を大都[(エ)]に移して、国号を元とした。

元は、日本に対しても朝貢を求めてきたが、鎌倉幕府は、それを拒否した。そのため、元は、朝鮮半島における元に対する抵抗をやっとのことで鎮圧すると、総勢約(オ)人あまりの軍勢で九州北部に進攻しようとした。しかし、(カ)の役とよばれるこの戦いにおいて、日本側は苦戦したものの、元軍は、突然起こった暴風雨のために大きな被害をうけ、撤退した。

鎌倉幕府は、元軍の再来にそなえて、石築地を築いたり、異国警固番役を強化したりした。それでも、元は(キ)年、前回の役よりはるかに多い大軍で進攻してきた。しかし、元軍は、この(ク)の役においてまたしても暴風雨によって大きな被害をうけ、撤退した。こうして、いわゆる元寇は失敗に終わった。

その後、日本と中国、朝鮮間の往来は、正式の国交はともなわなかったものの、なされるにいたった。僧侶や商人だけではなく、鎌倉幕府は(ケ)年、元に(コ)船を派遣し、交易による利益でこの寺を修復した。そして、室町幕府になって、足利尊氏も、夢窓疎石のすすめもあって、(サ)船を元に送り、この寺の造営の費用にあてようとした。

中国では元が次第に衰えていき、足利義満が將軍になった(シ)年、明が建国されたが、その明は、室町幕府に倭寇の取り締まりと朝貢をうながし、義満のほうも(ス)年、交易による経済的利益および九州支配の強化の2つの目的のため、明との国交を開いた。そして、その3年後から義満が明に朝貢するという形の日明貿易がはじまったが、明に向かう船は、明の皇帝から与えられた(セ)をもっていなければ、目的地の(ソ)に入港できなかった。

問1 文章中の空欄(ア)～(ソ)に当てはまるもっとも適切なものを、次から1つずつ選びなさい。

- (ア) ① イェスゲイ ② ジョチ・カサル ③ チンギス・ハン  
④ カチウン
- (イ) ① フビライ ② オゴタイ ③ ジョチ ④ トルイ
- (ウ) ① チベット ② タイ ③ インド ④ ベトナム
- (エ) ① 上海 ② 南京 ③ 北京 ④ 西安
- (オ) ① 2万 ② 3万 ③ 4万 ④ 5万
- (カ) ① 文治 ② 文永 ③ 文応 ④ 弘長
- (キ) ① 1280 ② 1281 ③ 1282 ④ 1283
- (ク) ① 弘安 ② 建治 ③ 正応 ④ 正安
- (ケ) ① 1322 ② 1323 ③ 1324 ④ 1325
- (コ) ① 建仁寺 ② 東福寺 ③ 円覚寺 ④ 建長寺
- (サ) ① 天竜寺 ② 南禅寺 ③ 大徳寺 ④ 妙心寺
- (シ) ① 1366 ② 1367 ③ 1368 ④ 1369
- (ス) ① 1400 ② 1401 ③ 1402 ④ 1403
- (セ) ① 勘案 ② 勘定 ③ 勘合 ④ 勘書
- (ソ) ① 上海 ② 杭州 ③ 青島 ④ 寧波

問2 文章中の下線部(a)～(e)に関する次の問いに答えなさい。

(1) 下線部(a)の説明として誤っているものはどれか。次から1つ選びなさい。

- ① 1271年、九州に所領がある御家人を下向させた。
- ② 対象地は、九州北部に限定された。
- ③ 石築地役をふくみ、主に御家人が負担した。
- ④ 非御家人や本所一円地にも及んだ。

(2) 下線部(b)の説明として正しいものはどれか。次から1つ選びなさい。

- ① 正中の変後、後醍醐天皇と通じ、六波羅探題を攻略した。
- ② 建武の新政で後醍醐天皇の信任を得た。
- ③ 中先代の乱を鎮圧できず、後醍醐天皇との関係が悪化した。
- ④ 光厳天皇を擁立して、幕府を開いた。

(3) 下線部(c)の説明として誤っているものはどれか。次から1つ選びなさい。

- ① 曹洞僧であった。
- ② 天竜寺の庭園を設計した。
- ③ 西芳寺の庭園を設計した。
- ④ 後醍醐天皇も、帰依した。

(4) 下線部(d)の説明として正しいものはどれか。次から1つ選びなさい。

- ① 足利尊氏の子であった。
- ② 銀閣を営んだ。
- ③ 花の御所を建てた。
- ④ 死後、太上法皇の称号を贈られた。

(5) 下線部(e)の説明として正しいものはどれか。次から1つ選びなさい。

- ① 前期倭寇は、高麗・朝鮮人は加わらなかった。
- ② 前期倭寇は、足利義満の九州制圧などもあって沈静化した。
- ③ 後期倭寇は、大部分が日本人によるものと考えられた。
- ④ 後期倭寇は、織田信長の海賊取締令で衰退した。



3 次の文章は、江戸時代後期の各藩改革の状況を示している。よく読んで、以下の問いに答えなさい。

19世紀に入ると、商品生産地域では( A )が生産者に資金や原料を前貸しして生産を行わせる( B )工業がいつそう発展し、一部では作業場を設けて、主家の家業・家事に従事する( C )を集め、分業と協業による生産を行うようになった。これを( D )工業といい、摂津の伊丹、池田、灘などの( E )業で早くからこのような経営がみられた。大坂周辺や京都の( F )、尾張の( G )業、北関東の( H )、足利などの( I )業では、数十台の高機と数十人規模の織屋が登場してきた。農村荒廃の一方で、資本主義的な工業生産の着実な発展がみられるなど、社会、経済構造の変化は幕藩領主にとっては体制の危機であった。農村の荒廃に対しては、小田原藩領、下野桜町領、常陸や日光山領などで行われた( a )の報徳仕法、下総香取郡長部村で行われた( b )の性学などのように、荒廃した田畑を回復させ農村を復興させようとする試みがある。諸藩も領内の一揆、打ちこわしの多発や藩財政の困難など、藩政の危機に直面していた。そうしたなか、各藩では、改革の機運がたかまった。

薩摩藩は、藩主( c )が( d )を登用した。三都の商人からの500万両の負債を無利息250年という長期年賦返済で事実上棚上げして処理した。奄美大島(大島、徳之島、喜界島)の( J )の専売制を強化した。琉球王国との貿易は増大した。島津斉彬は洋式工場群である( K )を建設した。

長州藩は、藩主( e )が( f )を登用するなどし、銀8.5万貫(約140万両)の負債を37カ年賦返済で整理した。紙、蠟の専売制を改革するとともに、下関に越荷方において、廻船の積荷の委託販売をして利益を得た。

肥前では、藩主( g )が改革を実施した。均田制の実施などによって、本百姓体制を再建した。( L )の専売を進め、反射炉、大砲製造所などを設け、軍備の近代化をはかった。

土佐藩では、藩主( h )の改革があった。改革派おこぜ組が支出の緊縮を行いつつ財政再建につとめるが失敗した。その後、( i )らが登用された。

水戸藩では、藩主徳川斉昭の改革が功を奏した。( j )、会沢安らを登用



し、全領の検地を実施した。藩校として( M )を設立した。藩内保守派の反対で改革は不成功に終わった。

宇和島藩主( k )の改革も重要である。紙、楮、蠟の専売を強化した。強兵策として、後に大村益次郎の名で知られる( l )を招いて兵備の近代化を図る。

問1 文章中の空欄( A )～( M )に当てはまるもっとも適切な語句を次から1つずつ選びなさい。

- |        |          |         |       |
|--------|----------|---------|-------|
| ① 専売商人 | ② 山科     | ③ 陶磁器   | ④ 館林  |
| ⑤ 集成館  | ⑥ 海産加工   | ⑦ 工場制手  | ⑧ 焼酎  |
| ⑨ 興讓館  | ⑩ 酒造     | ⑪ 金属器   | ⑫ 西陣  |
| ⑬ 反射炉  | ⑭ 問屋商人   | ⑮ 綿織物   | ⑯ 桐生  |
| ⑰ 蠟生産  | ⑱ 前橋     | ⑲ 問屋制家内 | ⑳ 絹織物 |
| ㉑ 烏丸   | ㉒ 弘道館    | ㉓ 奉公人   | ㉔ 黒砂糖 |
| ㉕ 仲買商人 | ㉖ 石川島造船所 | ㉗ 漆器    | ㉘ 明倫館 |
| ㉙ 海産物  | ㉚ 製紙     |         |       |

問2 文章中の空欄( a )～( l )に当てはまるもっとも適切な人名を次から1つずつ選びなさい。

- |         |        |          |        |
|---------|--------|----------|--------|
| ① 吉田東洋  | ② 平田篤胤 | ③ 西川如見   | ④ 村田蔵六 |
| ⑤ 大久保利通 | ⑥ 高杉晋作 | ⑦ 大原幽学   | ⑧ 毛利隆元 |
| ⑨ 中江藤樹  | ⑩ 熊沢蕃山 | ⑪ 毛利敬親   | ⑫ 島津久光 |
| ⑬ 伊達宗城  | ⑭ 上杉治憲 | ⑮ 細川重賢   | ⑯ 山内豊信 |
| ⑰ 山内一豊  | ⑱ 安藤昌益 | ⑲ 井上馨    | ⑳ 島津貴久 |
| ㉑ 二宮尊徳  | ㉒ 問宮林蔵 | ㉓ 高田屋嘉兵衛 | ㉔ 調所広郷 |
| ㉕ 西郷隆盛  | ㉖ 坂本竜馬 | ㉗ 毛利元就   | ㉘ 伊藤博文 |
| ㉙ 村田清風  | ㉚ 荻生徂徠 | ㉓ 石田梅岩   | ㉔ 島津重豪 |
| ㉕ 藤田東湖  | ㉖ 田中丘隅 | ㉗ 関孝和    | ㉘ 鍋島直正 |
| ㉙ 工藤平助  | ㉚ 本多利明 | ㉓ 勝海舟    | ㉔ 新見正興 |

4 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

明治維新以来、政府は西洋と日本の文物や制度をどのように組み合わせるかに関心を注いだ。1868年、アメリカ合衆国憲法などを参考に(あ)を制定して、政府の組織を整え、その最高官庁を古代の律令制から採って(い)とした。その後、西洋についての調査はいっそう大がかりに行われた。1871年、政府は特命全権大使に右大臣岩倉具視、副使に参議(う)、大蔵卿(え)、工部大輔(お)、外務少輔(か)を据えた遣外使節団を欧米に派遣して、条約改正の予備交渉と欧米の文物や制度の調査にあたらせた。文部省からは文部大丞(き)が理事官として随行し、欧米教育制度の調査を行い、『理事功程』にまとめた。その通訳としてアメリカで神学を学んでいた(く)が欧州まで同行し、教育調査を助けた。また、使節団には多くの留学生が加わっており、そのなかには(け)の建議によって派遣された5名の女子留学生もいた。最年少の(こ)は1882年に帰国し、その後は女子教育の振興に力を尽くした。使節団の記録は随行の(さ)によって『特命全権大使米欧回覧実記』にまとめられ、広く人々に欧米の状況を伝えた。

留守政府では、1872年から73年にかけて学制や徴兵令の公布、地租改正などの大規模な国内改革を実施した。このうち、学制は文部卿(し)のもとで、(す)の教育制度にならって制定されたが、<sup>(a)</sup>欧米の教科書をそのまま翻訳して用いるなど、画一的で国民生活の実情に合わない点も多く、各地で学制反対一揆が起きた。そうしたなかで、文部省は(せ)の教育制度にならって学制改革を進め、ア年には学制を廃して、教育令を公布した。

イ年、文部大臣(そ)は、<sup>(b)</sup>帝国大学令・(た)令・中学校令・小学校令などの一連の学校令を制定して、学校体系の整備を行い、国家主義教育をめざした。ウ年には、教育勅語が発布され、教育の理念が天皇制との関連で明確化された。これは(ち)や元田永孚らによって起草されたもので、儒教主義的な家族道徳を基礎に、忠君愛国を教育の基本として強調するものであった。その後、第一高等中学校における教育勅語奉読式で、(つ)が天皇の署名のある教育勅語に最敬礼をしなかったことをもって不敬とされ、教壇を追われる

事件が起こった。また、1911年には『尋常小学日本史』の記述が議会で問題となり、<sup>(c)</sup>( て )を正統とする内容への修正が行われた。

問1 文章中の空欄( あ )～( て )に当てはまるもっとも適切な語句を、次の語群から1つずつ選びなさい。

- |          |              |         |         |
|----------|--------------|---------|---------|
| ① 田中不二麿  | ② 福地源一郎      | ③ 大隈重信  | ④ 福沢諭吉  |
| ⑤ 内村鑑三   | ⑥ 井上馨        | ⑦ 寺島宗則  | ⑧ 新渡戸稲造 |
| ⑨ 井上毅    | ⑩ 山田顕義       | ⑪ 江藤新平  | ⑫ 田口卯吉  |
| ⑬ 福岡孝弟   | ⑭ 大久保利通      | ⑮ 内閣    | ⑯ 津田梅子  |
| ⑰ 木戸孝允   | ⑱ 漸次立憲政体樹立の詔 | ⑲ フルベッキ |         |
| ⑳ クラーク   | ㉑ 佐々木高行      | ㉒ 新島襄   | ㉓ 山口尚芳  |
| ㉔ 植村正久   | ㉕ 伊藤博文       | ㉖ イギリス  | ㉗ アメリカ  |
| ㉘ フランス   | ㉙ ドイツ        | ㉚ 政体書   | ㉛ 南朝    |
| ㉜ 北朝     | ㉝ 太政官        | ㉞ 黒田清隆  | ㉟ 大木喬任  |
| ㊱ 山川捨松   | ㊲ 久米邦武       | ㊳ 永井繁子  | ㊴ 神祇官   |
| ㊵ 森有礼    | ㊶ 高等学校       | ㊷ 実業学校  | ㊸ 師範学校  |
| ㊹ 五箇条の誓文 | ㊺ 神道         |         |         |

問2 文章中の空欄  ～  に当てはまるもっとも適切な数字を、次の語群から1つずつ選びなさい。

[語群]

- |        |        |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| ① 1877 | ② 1879 | ③ 1880 | ④ 1885 | ⑤ 1886 | ⑥ 1890 |
| ⑦ 1892 | ⑧ 1894 | ⑨ 1899 | ⑩ 1900 |        |        |

問3 文章中の下線部(a)に関する説明として、誤っているものはどれか。次から1つ選びなさい。

- ① 「学問は身を立るの財本」であるとして、実学主義が掲げられた。
- ② 「必ず邑に不学の戸なく、家に不学の人なからしめん事を期す」として、尋常小学4年を義務教育と定めた。
- ③ 尋常小学では男女の別なく共通の教育を行うことを原則とした。
- ④ 学区制を採用し、全国を8大学区に分け、1大学区に32中学区、1中学区に210の小学区を設けるとした。

問4 文章中の下線部(b)に関する説明として、誤っているものはどれか。次から1つ選びなさい。

- ① 学区制を廃止し、公立小学校は町村あるいは数町村連合によって設置することとした。
- ② 児童は6歳から14歳までの学齢期間中、少なくとも16ヶ月は普通教育を受けるものとした。
- ③ 小学校の就学率が向上し、全体で65%を超えた。
- ④ 自由教育令と称された。

問5 文章中の下線部(c)と関連する事項の説明として、誤っているものはどれか。次から1つ選びなさい。

- ① これが問題化した時の首相は桂太郎であった。
- ② この時は尋常小学校6年が義務教育であった。
- ③ この問題により、文部省編修官の喜田貞吉が休職処分となった。
- ④ この出来事が契機となり、小学校で国定教科書制度が導入された。









